

シニアの部 【最優秀賞】

好奇心と学びを友として

太田市 76歳

すずき
鈴木 かをる

昨年、後期高齢者に仲間入りしました。自己判断ですが私は大病や大怪我をしたこともなく、比較的元気な高齢者だと思います。ただどう欲張ってみても残念ながら先が見えているのも現実で、残されている?けれど見えない自分的人生に想いを馳せることもあります。子育て中は当然のように子ども中心の生活でしたが、子ども達が育つて自立していくと共に自然と行動も思考も自分中心に変化してきました。同時に「老い」を過度に憂えなくなり、これが年を重ねる・受け入れると言ふことなのが、とも実感しています。

社会人として現役だった時は、心身をフルに活動させて十二分に生きていると自信していました。高校卒業後就職して、長男出産後に最初の職場を退社、四人の子育て期間中は自営を、その後再就職して五十四歳で退職。それから二十二年、苦勞がなかつた訳ではありませんが自分の時間でした。そこでいくつかの市民グループで活動し、若い時の最大の後悔であつた大学進学も果たして学び、更には定時制高校などでも一度学び直したいと考えていました。そんな時、太田市の生涯学習推進事業「金山中学校」に出会いました。当初の金山中学校のカリキュラムは、中学校三年生と同じ教科書で月・火・水の午前中に国語と社会を学びます。現在はコロナ禍の影響で、週一回の授業に縮小されながらも継続しています。金山中の生徒のほとんどは高齢者ですが、社会人としての経験と教科書での学びが相まって、授業の内容は薄紙が剥がれるように霞が晴れるように頭や心に染み渡りました。又その仲

間達が素晴らしい、市内全域に友人の輪が広がり、学習っぽい事業、旅行やハイキング、グラウンドゴルフなど様々に入り乱れて様々な活動を続けています。金山中学校に入学した思惑・前向きで積極的な考えに共通点が多く、その空間は空気が透き通つて軽やかにさえ感じます。更に仲間たちと触れ合う中で、人は楽しんで生きて良いのだ、という宝石のような言葉も知り、そして納得しました。太田市の大ホームランです。

実は「高齢者ほど自身を整えて賢くあるべし」これが私の持論です。今私の姿は一見萎びたジャガイモのようではあるけれど、積み上げてきた人生経験と、生まれ持つた旺盛な好奇心と、それから芽生える学びの気持でいっぱいなのです。最初の職場はコーワ化粧品でしたが、人は一生自分の顔に責任を持つて生きると指導されました。七年間誠実に勤めることで、顔だけではなく体全体を大切にきれいに保つて生きることが、自分のプライドに直結する要因の一つでもあると信じることができます。だから現在も大切に丁寧に使っています。見えないけれど、私たちにも楽しんでよい未来があります。「好奇心と学ぶ心を」「整えて賢く」これが長寿社会に生きる仲間達に伝えたい私のメッセージです。